

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	元気な舞鶴人、いっぱいプロジェクト	実施期間	平成27～30年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市の人口は平成22年（国勢調査）で約88,000人となっており、5年間で約3,000人が減少している状況にある。その一方で、世帯数は増加しており、核家族化が急速に進行している。</p> <p>また、夫婦共働きの進行、未婚率の上昇、高齢者だけの世帯の増加など、ライフスタイルの多様化により社会を取り巻く環境が変わる中で、自助機能が脆弱化し、孤立化・孤独化するケースが生じている。</p> <p>地域コミュニティ、行政、NPO等がそれぞれの役割を担い、支え合う仕組みの構築が急務となっているとともに、市民一人一人が文化的・健康的な生活を送ることができるような環境づくりが必要となっている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>自治会等における新たな活動や従来の事業を充実・発展させ、地域の結束強化並びに新たな交流の場づくりを積極的に支援し、地域コミュニティの再生及び地域活性化を図る。</p> <p>また、障害のある未就学児等の支援や地域子育てステーション等の充実を図るなど、次なる新しい時代を拓き担っていく人材を育成するため、子どもの発達段階や個性を尊重した育成・教育環境づくりを進めるとともに、育成に携わるおとももまた、常に学び続けられるようその環境づくりに取り組み、高齢者が生きがいを持って暮らすことのできるまちづくりを推進する。</p>						
	総事業費（千円）	882,028	本年度事業費（千円）	220,507	交付金額（千円）	64,780	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
	元気で明るいまちづくり事業	交付対象事業	文化と音楽が融合したまちづくりの支援 新たな交流の場の創出・地域住民の交流支援 生涯学習の推進・自主的な学習発表の場の創出 赤れんがハーフマラソン、全国高校総体、ジュニアクイーンズカップ選手権大会の開催支援 民間活力導入による健康増進・賑わいの拠点の整備検討	文化振興事業費補助金（コンサート、映画上映、アウトリーチ、ワークショップなど）、総合文化会館大ホールリニューアル記念コンサート開催、吹奏楽指導者育成講習会（2回）、ジャズカフェの開催（2回） 赤れんがハーフマラソン（2,375人参加）、全国高校総体（延10,000人動員）、ジュニアクイーンズカップ選手権大会（延2,800人動員） 市民病院跡地の施設除却工事実施設計及び西棟改修工事基本設計、民間活力の導入に向けた調査・研究			
	施設整備事業	交付対象事業	地域集会所の整備支援	地域集会所の建設に係る補助（新築3件）			
	高齢者支援事業	交付対象事業	ふれあいのまちづくり事業に対する支援	地域づくりサロン事業に対する助成（34グループ・実施回数992回）			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

市町村 実施事業	子ども・子育て応援事業	交付対象事業	保育所・幼稚園・学校における発達支援事業、地域子育て支援ステーション運営、公立・私立幼稚園施設整備等	保育所発達支援事業費補助金（10保育所） 私立幼稚園の施設整備に対する補助（6園） 私立幼稚園において支援を要する園児に対し支援員を配置する経費を補助（7園） 公立小学校に設置している遊具の更新等（11校） 英語指導助手（AET）の設置（7名・延べ1,439回訪問）、特別支援教育支援員の設置（小学校26名、中学校12名）、英語検定にチャレンジする生徒への検定料支援（受験者延べ714名）、保小中連携及び地域連携の調査研究など	
	人材育成事業	交付対象事業	ボランティアコーディネーター設置費への補助、私立高等学校への質の向上に対する支援	社会福祉協議会が設置するボランティア・コーディネーターに対する補助 市内高等教育機関に対する支援	
	シルバー人材センター事業費補助	関連事業	シルバー人材センターの事業費への支援	舞鶴市シルバー人材センター事業の施行実績 契約件数：8,181件、就業延人数：69,813人	
	幼児教育・保育の質向上推進事業	関連事業	幼児教育ビジョンの策定 幼児教育・保育の質の向上に向けた研究・研修 小学校教育への連続性、一貫性の確立に向けた研究・研修 先進・高度な幼児教育実践のための調査・研究・研修 子どもを主体としたプロジェクト型保育の実践	乳幼児教育ビジョン策定 （懇話会16人4回、作業部会保幼小中の保育者、教員等47人5回開催） 研修会・勉強会・協議開催 16回 （研修参加延べ人数 約720人、公開保育9園・うち2園は保幼小連携） 他市への事業発表4回 視察受入8回 他事業研究1回 ※文部科学省調査研究委託事業	
	放課後児童クラブ整備事業	関連事業	放課後児童クラブの整備に要する経費の補助	放課後児童クラブ施設整備 1校 （クラブ室の外壁補修、エアコン更新工事）	
住民 協働 事業					
住民が 取り組む 事業					
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	シルバー人材センター会員登録数 （平成30年度：1,000人）		成果指標の実績値 （28年3月31日時点）	761人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	新規会員(122人/年)がみられる一方で、高齢となり退会される方(102人/年)もみられる状況のため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標②	成果指標の目標数値	公民館の生涯学習講座の参加延べ人数 (40,000人/年)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	36,349人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	西公民館の移転に伴い、同館が平成28年3月の一か月間、休館としたことによるものです。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	授業がよくわかると回答した子どもの割合 (全国学力学習状況調査) (平成27～30各年度：80%超)		成果指標の実績値 (27年4月21日時点)	小：83.4% 中：76.3%	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	本プロジェクトの実施により、基準値(H22 小78.65%、中65.95%)よりも実績値は年々上がっており、小学校は目標数値(80%)を達成した。中学校についても10.35%上昇し、目標数値(80%)に近づいている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査) (平成27～30各年度：小・中ともに80%)		成果指標の実績値 (27年4月21日時点)	小：69.6% 中：38.9%	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	小学校は基準値(H26・66.3%)よりも上がっているが、目標値に達していない。中学校については、基準値(H26・40.2%)よりも下がった。一方で、夢や目標を持っていると漠然と考えている児童生徒を含めると64.9%となる。今後も引き続き、漠然としたものから確固たる夢や目標になるよう取り組んでいきたい。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標⑤	成果指標の目標数値	スポーツイベント参加者数 (平成30年度：14,000人)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	25,996人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	全国高校総体の開催等に伴い、成果指標の目標値を達成。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	舞鶴市シルバー人材センターにおける会員登録数については、高齢化の進行等により退会者数が増大していることから、新たな会員の確保に向け、これまで以上に連携・協力をおこなっていく。					
※未達成の場合も効果を記載すること	高校総体やジュニアクイーンズカップレスリング大会等、大型のスポーツイベントの開催に伴い、目標値の大きく上回った。また、小・中学校において、授業の理解度が高まっていることについては、英語指導助手や特別支援教育支援員の設置のほか、英語検定試験の受験料補助など、授業のサポートだけでなく学習意欲の向上を目指した取り組みが一定の成果を上げていると考えられる。					
	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：舞鶴市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	高齢者の健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上・活性化に資するため、本市のシルバー人材センターと連携・協力の下、各種事業を展開している。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	地域集会所や子育て施設等の整備をおこなうことで、安全・快適な施設利用を促進するとともに、コミュニティの強化を図ることができた。また、高齢者等のグループによる自発的な活動・交流を支援することで、健康で生きがいのある生活づくりに寄与することができた。
	リーディング・モデル成果	幼児教育・保育の質向上推進事業により、様々な研修の機会や先進事例の情報を入手することにより幼稚園教諭や保育士の質向上につながった。
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	音楽をキーワードとした事業の展開や、地域の伝統である「ふるさとまつり」等への継続的な支援により、年代を問わず、本市の文化や地域の伝統に触れる機会を提供することができた。 また、赤れんがハーフマラソン等の新たなイベントの定着により、新たな交流の場づくりに寄与することができた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。